



大楠小だより

絆 きずな
—夢をもち 心豊かに たくましく生きる 大楠の子—

横須賀市立大楠小学校 八矢 信宏
〒240-0104 横須賀市芦名 1-29-18
tel:046-856-0154
Fax:046-856-0245

四方の山々

卒業式の歌

作詞 黒岩 胤
作曲 佐々木すぐる

四方の山々 霞つつ
花咲く春の かえり来ぬ

嗚呼 この春に 巡り逢い
今日の誉れを になへるは
これぞ 師の恩 友のたすけ
何時の世にかは 忘るべき

大正6年に浜松師範学校第1回講習科卒業生のために作られた歌のはじめの部分です。さすがに大正時代の曲とあって、時代を感じさせる歌詞が続きます。私は教員として2校目の学校でかかわることがあり、今も曲のフレーズが頭に残っています(残念ながらすべてを正確には歌えなくなってしまいました)。冒頭の「四方(よも)の山々 霞つつ」は、威厳のある雰囲気が始まるのですが、まさに「春を迎えようとしている大楠山とあたりの風景」がぴったりだなと感じています。

春本番。東京では桜の開花宣言もありました。いよいよ一人ひとりの旅立ちの時を迎えようとしています。

春の訪れを感じる

「校長先生、校長先生、大変です！」

昨日、1年生数名が職員室に走ってきました。

物事をよく考える子 思いやりのある子 ねばり強くがんばる子 明るく元気な子

「ひょうたん池に大きなカエルがいて、メダカが食べられちゃう!!!」

私はすぐにその子の後を慌てて追いかけて、ひょうたん池に行きましたが、カエルの姿はありません。実はすでに別の子がどこからか網を探してきて、カエルを捕獲し、やはり校長室に報告に来ていました。行き違いになってしまっていたのですね。

いろいろな見方はあるのでしょうかけれども、私はこの1年生の子どもたちの瞬発力に感心しました。自分たちが愛着を持っている池に事件(??)が発生した→校長先生も大切にしているメダカがいるからすぐに報告しなければいけない!という流れですよね。自分の想いを行動に移すことができるということはとしても素晴らしいことです。

ひょうたん池をはじめとして、今5年生が総合的な学習の時間でビオトープについて活動しておりますので、私は「池のカエルは5年生の先生にも教えてあげた方がいいよ」と教えてあげました。するとすぐに5年生の教室に走って行きました(今、5年生は授業中だけど、きっと5年生の先生方なら、1年生の想いを受け止めてくれるだろう……)。

5年生がカエルを見て「これはアズマヒキガエルだよ」と教えてくれたそうです。校舎裏でもビオトープ造りの活動をしており、そこに放したようです。当のカエルさんも、春になって活動を始めたところで、子どもたちの動きに巻き込まれたというところでしょうか。

季節は春。別れの季節。6年生だけでなく、子どもたちはそれぞれ次のステージへと旅立ちの時を迎えています。最後まで皆様のご支援、よろしくお願いいたします。